

東海大学 工学部 航空宇宙学科 航空操縦学専攻

本専攻は、日本の大学として初のパイロット養成コースとして設立されました。パイロットとして活躍したいという若人の夢を実現するため、十分な航空知識と確かな操縦技術が習得できる教育プログラムを構築しています。



大学生 浅野修造 さん
埼玉県立
春日部高校出身



先生 佐野克彦 先生
私立
栄光学園高校出身



卒業生 菊池賢樹 さん
私立
茨城高校出身

たね。学んできた通りに操縦して、フワッと飛行機が浮いて飛んだ瞬間に、「ついに夢の第一歩を踏み出せた」という喜びがどつとわき出てきました。

- 留学先ではペアでのフライトを15時間くらい体験すると、ひとりで操縦する「ソロ・フライト」を経験することになります。
- 僕は留学開始から2カ月後に初めてのソロ・フライト「ファースト・ソロ」を経験しました。「教官が認めてくれたのだから大丈夫だ」という自信を持って臨みましたが、終えた時の感想は、「死ななくて良かった」でした(笑)。
- 「ファースト・ソロ」を終えるというのは、パイロット人生における最初の一大イベントで、私も自分の体験を今でも覚えています。私の時は「ファースト・ソロ」を終えた後、教官がネクタイを切ってくれました。これは、隣からネクタイを引っ張る教官はもう必要ないよという、卒業のサインなのです。

— 航空宇宙学科航空操縦学専攻の特徴を教えてください。

■ ANAの全面的な協体制のもとで行われる、プロパイロット養成のための専攻です。そのための万全なカリキュラム体制となっており、飛行技術の向上に欠かせないフライト・シミュレーターも完備し、設備的にも充実した環境です。



フライト・シミュレーター

- 佐野先生は現役のパイロットでもあり、授業では実際に大型旅客機を操縦されたお話も伺えます。「自分も必ず大型旅客機を飛ばすぞ」と、目標意識が高まります。
- 副操縦士の仕事ではコミュニケーション能力や社会人としての幅広い知識も求められます。アメリカ留学から帰国した3・4年次で取り組んだ他学部の学問や卒業論文などが、機長を目指すうえでも生きていくと感じます。

— 入学試験も多少異なりますね？

- 試験科目は英語と数学ですが、英語力については英検2級などの出願条件があります。健康調査票の提出もあります。
- 「健康調査」では、健康であることと、バランスが取れていることがポイントです。現役パイロットでも半年に1回は身体検査があり、私も健康管理や肥満防止を常に心掛けています。また、英語力は本専攻では必要不可欠です。2年次からノースダコタ大学に留学し、米国人教官の指導を受けながら試験に合格しなければなりません。そのため、1年次の4月からの7割以上の授業が英語関係にあてられます。受験勉強も含め、高校までの英語をしっかりと学んでおいてほしいですね。

— 2年次の留学先でのお話を聞かせてください。

- 実機訓練では、教官が同乗しているとはいえやはり緊張しまし

— パイロットへの就職状況はいかがですか？

- 航空業界でも団塊世代のリタイアの影響がありパイロット人口は減少傾向です。つまり、即戦力に近い人材は各社とも確保していきたい状況です。航空会社の人間としての目線で言いますと、学生時代からパイロットにチャレンジしているということは、それだけの意欲や熱意があると感じます。
- 多くの機長さんから「東海大生は違うね」と言っていたことがあります。東海大の卒業生は情熱の塊ですからね。本専攻の学生はパイロットと同じ目標に向かってお互いにモチベーションを高め合い、刺激し合える環境にあります。そういう環境があるからこそ、様々な試練を乗り越えて行けたのだと思っています。そこが素晴らしいところでもありますね。

— 高校生へのアドバイスをお願いします。

- パイロットの醍醐味に関して「飛んだ者にしかわからない」と雑誌などには書かれていますが、まさにそういうものだなと感じています。パイロットを目指している多くの高校生に、ぜひこの実感を味わってほしいと思います。
- パイロットは技術と知識だけでなく、協調性などの人間力が問われます。高校時代の部活や友達との交流を通して、協調性なども養ってほしいですね。また、パイロットまでの道のりは試験の連続で、失敗があった際に何が原因だったかを探り、解決していく力がとても重要です。問題解決力を高校時代に身につけておくと、パイロットへの道も大きく近づくと感じます。
- 歳を重ねると、やりたくてもできないことが増えてきます(笑)。ですから高校生の時は「私には無理だろう」と限定せずに、なるべく大きな夢を描いてほしいですね。そして夢の実現に向けて、最初の一步は何をすべきかを考えてほしいと思います。

卒業生たちは…

整備士として飛行機の安全を支える

身体試験にパスせず、パイロットへの道はあきらめるも、航空会社整備部門に合格。今は整備士国家資格のため猛勉強中。

宇宙開発事業で活躍

実機試験に不合格となるも「航空宇宙学専攻」へ転専攻。ロケットシステムを学び、優秀な成績で卒業して、宇宙開発事業で活躍している。

■ 菊池賢樹さんは…

ボーイング767型機の副操縦士

▶ p.72